

正月食材！特産 えびいも

土入れエビぞりに湾曲

京田辺 農福連携さんさん山城
で収穫

京田辺市興戸小モ
詰の障害者就労支援
事業所・農福連携セ
ンターの「さんさん山
城」(新免修施設長、
藤永実管理)では、
地元特産のえびいもの
収穫が同市東にある
畑で佳境を迎えてい
る。

4月、例年より20
0株多い約1000株
の植え付けを完了。新
農法も試しながら夏
を越し、秋へ。
猛暑も農業班を中
心に利用者、職員らが
力を合わせ、この冬も
京の家庭に欠かせない
正月食材を届ける。

市特産としてアピー
ルを強めるえびいも
は、正月需要も盛んな
高級食材。
さんさん山城は開
設2年目の2012年
に栽培を始め、ノウハ
ウを積み。
JAを通じた出荷も
好評。万松青果園に卸
すえびいもは京都市
内の名立たる料亭で
も引き合いが盛んだ。
これまでの800株
から今季は1000株
まで増やし、色とりど
りの作物に彩られる
棚倉孫神社の「瑞麟
(すいき)神輿」用に
確保したズイキ50本
も今年10月に奉納し
た。

元JA営農指導員
で地元農家、さんさん
でも農業指導や送迎
を担当する滝山康夫
さん(71)の進言を受
け、定植の際にもクワ
で畝に土寄せして溝を
広げるなどの新農法
に挑んだ。
今季はマルチを敷か
ず、畝の間隔を広げて
「機械も入りやすかつ
た」。

周囲の生産家の注
目を浴び、藤永管理
者は「真夏も作業がス
ムーズだった」と効果
を伝える。
6月中旬、土入れを
開始。載せた土の重さ
でエビのように反るお
イモたち。
8月中旬、それまで
「子供を産んだ」親
株を取り始め、えびい
もとなる「子いも」の
生育を促した。

出荷のピークを迎
える11月から来年1
月まで収穫も最盛期
に。
大きな葉、太い茎(ズ
イキ)がふんだんに水
をたたえる畔と芳醇
な実りの光景を成し
ている。

手塩に掛ける特産野菜
を使ったメニューを提
供しており、4日(土)
午前10時開始のさんさ
ん土曜市では「えびい
も祭り」を開催する。
ワンコインランチメ
ニューはえびいも豚汁
定食。えびいもコロッ
ケ、「おせち料理にせ
ひとも」とえびいも販
売も行う。

近鉄新田辺・JR京
田辺駅より徒歩約15
分。問い合わせは同施
設 097-1133まで。



土を掘りスバツと親いもと切り離したズイキ



「これが親いもだ」ズイキごと持ち上げる「さんさん」農業班メンバー

「これが親いもだ」ズイキごと持ち上げる「さんさん」農業班メンバー

滝山英之さん(62)
「同市興戸」は「作業
3年目。えびいもは
知らず、食べたことも
なかった。どこを食べ
るのかもわからなかつ
た。コロッケのような
食感にビックリした。
痛を出すのも面白く興
味が湧いた」、樋口結
香さん(33)「同市」
は「種いもの育苗もし
ている。カットして揚

4日にえびいも祭り

「子供を産んだ」親
株を取り始め、えびい
もとなる「子いも」の
生育を促した。

手塩に掛ける特産野菜
を使ったメニューを提
供しており、4日(土)
午前10時開始のさんさ
ん土曜市では「えびい
も祭り」を開催する。
ワンコインランチメ
ニューはえびいも豚汁
定食。えびいもコロッ
ケ、「おせち料理にせ
ひとも」とえびいも販
売も行う。

近鉄新田辺・JR京
田辺駅より徒歩約15
分。問い合わせは同施
設 097-1133まで。



大きく育ったえびいもの収穫は力が必要



愛らしく反り返ったえびいも



えびいもには「土入れ」…さらにかぶせていく



えびいもには「土入れ」…さらにかぶせていく



えびいもには「土入れ」…さらにかぶせていく